



第五中だより

令和6年4月15日発行 【第2号】

発行者 唐津市立第五中学校

校長 宮田 稚子

《学校教育目標》「持続可能な未来の創り手として、
逞しく、心豊かに、学び続ける生徒の育成」

キーワード：「行動」「協働」「感動」

《 校 訓 》「みなぎる力、輝く希望、あふるる光」

～第69回入学式～99名の仲間が入学！

4月11日（木）に第69回入学式を実施し、第五中学校に99名の新しい仲間を迎えました。少し大きめの真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちで参加してくれた新入生の皆さんは、中学校で頑張ろうという気持ちが溢れていました。新入生を加えて、329名で、新しい五中をしっかり創り上げていきたいと思えます。



今年度の入学式にも、PTA代表の出島聖子様をはじめ50名を超える来賓の皆さま、新入生の保護者の皆さま、お忙しい中ご出席いただきました。本当にありがとうございました。地域の宝である子どもたちをしっかり育てていきますので、これまでと変わらぬご理解とご支援をよろしくお願ひします。

さて、式では、校長から新入生に「**3つのお願い**」について話をしました。1つ目は、『**自分を大切にしてほしい**』ということです。自分を大切にするととは、「最後まで諦めず、自分の可能性を信じて、一生懸命に頑張してほしい」ということです。2つ目は『**人を大切にしてほしい**』ということです。これは、言い換えると「**互いを思いやる気持ちを大切にしてほしい**」ということです。3つ目は、『**ものを大切にしてほしい**』ということです。このことは、「**心を大切にすること**」ことにつながります。この3つを大切にし、心を大切にできる人になってほしいと思っています。



新入生を代表して、山崎さんから、「今、私たちは入学の喜びとともに、小学校より難しくなる勉強と部活動の両立に、多少の不安が入り混じった気持ちです。これから始まる中学校生活では、第五中学校の生徒としての自覚をもち、取り組んでいきたいと思えます。」と中学校生活への決意を力強く宣誓してくれました。

生徒会長の田川さんは、「勉強と部活動を両立させることは簡単ではありませんが、小学校では感じることでできなかった楽しさを知り、そして仲間の大切さを知ることができます。中学校は三年間で小学校の半分の時間です。三年間は風のように過ぎていきます。その三年間を充実させるため



には、メリハリをつけて、様々なことに挑戦してみることが大切です。挑戦をすることは、自分の成長にもつながります。どんどん様々なことに挑戦してみてください。」と歓迎の言葉を述べました。2人とも本当に立派で、今後の第五中学校の進化が期待できると感じました。

また、新入生代表の天岡さんに校長から教科書を手渡しました。教科書は、憲法第 26 条に掲げる義務教育無償の精神をより広く実現するものとして、無償で（国民の税金負担）で給与されているものです。この制度は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律」及び「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、昭和 38 年度に小学校第 1 学年の入学生について実施され、以後毎年拡大され、昭和 44 年度に小・中学校の全学年に無償給与が完成し、現在に至っています。教科書を大切に扱い、しっかり学んでほしいと思っています。

対面式・部活動紹介(4月12日(金))

4月12日(金) 5・6時間目に「対面式・部活動紹介」を行いました。「対面式」では、生徒会副会長の歓迎の言葉、新入生代表の言葉や生徒会本部・専門部の取組の紹介をしました。特に、歴代生徒会で取り組んできた、授業スタート・立腰や無言整列、トイレのスリッパ、休み時間の過ごし方などを新入生に分かりやすく丁寧に説明していました。今年もよりよい五中になるために、生徒会を中心にしっかり考え、行動してほしいと思います。

「部活動紹介」では、各部の部長がそれぞれの部の活動の様子や意気込みを1年生に伝えました。その中でパフォーマンスを入れたり、活動中の風景の映像を見せたり、実演したりと趣向を凝らして説明を行いました。当日は、生徒会役員が企画・準備・運営・進行などを全て行いました。見事な采配ぶりに感心しました。

校長からは、中学校生活は、自分を鍛え、磨き、高めるところです。勉強はもちろんですが、生徒会活動や部活動はまさに自分を「鍛え、磨き、高める」ことができる活動です。積極的に頑張してほしい」と話をしました。

